

あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
会 長 渡 邊 孝
(京都府立桂高等学校長)

平成25年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第53号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

まず、加盟校、各専門部の皆様の御支援・御協力の下、山本誠三前会長バトンを受け本年度を終えることが出来ましたこと、誌面ではありますが、心から御礼申し上げます。

本年度も、本連盟では諸会議（理事会・評議員会、専門部委員長会議、中・高連携会議）と各種体育・スポーツ振興事業（選手派遣、大会開催、競技力向上、調査研究、普及広報、一般生徒対象）と、盛り沢山の事業を行ってまいりました。

とりわけ、北部九州ブロックでの全国高等学校総合体育大会をはじめ全国定時制通信制体育大会、その他の全国大会において、団体種目では陸上競技での優勝をはじめ入賞数25、個人種目では20種目の優勝を含め入賞数は91となり、京都府選手団として大活躍をしてくれました。また、第32回皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会においては、5区から7区を走った高校生の活躍が京都府の優勝に大きく貢献しました。併せて、天皇盃第19回都道府県対抗男子駅伝においても、1区の高校生の快走は、京都府の高校生の力を全国に発信できたことと喜んでいるところです。

さて、2月7日から第22回冬季オリンピックがソチで開催されました。東京オリンピックの開催決定後、最初のオリンピックとして注目の中、高校生と同年代の若い選手ばメダリストになるなど活躍が目立った大会であり、大きな刺激を受けたのではないかと思います。そのような中で、いよいよ平成27年度、和歌山県を主開催県として近畿地区で全国高等学校総合体育大会が開催されます。本府においても6競技の開催に向け、準備委員会を設立し、2年後に迫った大会に向けどのように進めていくのか、道筋を決めることができ、開催前年度の実行委員会へとバトンを渡す準備が出来たのではないかと思います。

全国高等学校体育連盟では、高校生のスポーツの祭典である「全国総合体育大会」の経費問題を検討しているようです。今までは、清涼飲料水の会社がスポンサーとなり大会の経費の一部を補助、運営をしていましたが、撤退により大会運営に支障をきたすとのことで、関係部署で見直しをかけていると聞いております。事務局から詳細がわかり次第、各専門部に情報提供を行い、いろいろと御意見をいただいているところです。平成27年度には近畿圏で開催されることも踏まえ、高校生の体育・スポーツが衰退しないようにしなければならないと考えております。併せて、課題となっている体罰問題に対しても、根絶に向け関係機関と協力をしながら取組を進めてまいり所存です。

最後になりましたが、本連盟に対し御協力・御支援をいただいております関係のみなさまに重ねて御礼を申し上げまして、発刊のあいさつとさせていただきます。